

鉛筆デッサン（3時間）

入学試験問題

【問題】

与えられたモチーフ（アクリル球とネット包帯）を手であやつり、そこで起こるモチーフの特性と手を描きなさい。

[条件]

1. アクリル球とネット包帯は必ず描くこと。
2. ネット包帯は手にはめてもはめなくてもよい。
3. 包装材はモチーフではない。
4. 答案用紙は縦横自由。
5. 目隠しカードの上に、画面の「上」を示す矢印「↑」を必ず書くこと。

配付物]

1. 試験問題
2. 答案用紙（B3画用紙）×1枚
3. アクリル球×1個
4. ネット包帯×1枚
5. 下書き用紙（B4上質紙）×2枚

《禁止事項》

指定された氏名欄以外への本人の氏名、受験番号等の記載を禁じます。



出題意図と評価のポイント

人が物を手に持つと、何かの行為をします。握ったり引っ張ったり、さらに目を閉じてその物を触ってみると硬さや手触りを感じるでしょう。デッサン力とは、こうして感じたものを脳の中で自分のイメージとして整理して表現する能力です。今年のモチーフからはレンズ効果の面白さと、繊維の生む様々な触り心地を見つけられるでしょう。それを見つけた作品は魅力があります。ここに挙げた参考作品にはそのイメージが的確に表現されています。

デザイン（3時間）

入学試験問題

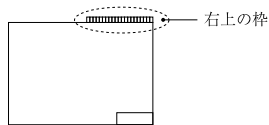
【問題】

別紙参照文にあるように本（書籍、雑誌、図書）には多様な意味があります。また、本には読む（音読、黙読）、ページをめくる、持ち運ぶ、書く、描く、綴じる、印刷するなどの動作や行為も伴います。そして人はそれぞれ本に対して何らかの記憶、思い出を持っています。与えられたモチーフ（東見本）に触れ、観察、参照しながら、あなたにとっての本のイメージを色彩構成しなさい。画面右上の与えられた枠内に20字以内にタイトルを記入しなさい。

[条件]

1. 使用する形態は自由。
2. 使用する色数は自由。

3. 描画画面は与えられた紙面全体とする。ただし余白は白地とみなすので全面を塗りつぶさなくてもよい。
4. 答案用紙は横長で使用する。
5. 右上枠内の文字書き込み部分は塗りつぶさないこと。



[配付物]

1. 試験問題
2. 答案用紙（B3セント紙）×1枚
3. 別紙参照文×1枚 ※
4. 東見本×1冊
5. 下書き用紙（B4上質紙）×3枚

《禁止事項》

指定された氏名欄以外への本人の氏名、受験番号等の記載を禁じます。

※【書物】【book】について、岩波書店「広辞苑」第六版、大修館書店「ジーニアス英和辞典」第4版、goo web 辞書から抜粋引用。

出題意図と評価のポイント

この問題は与えられたモチーフ（東見本）に触れてもらった上で、各人の「本」から得られるイメージを自由に描くことを求めています。本には様々な種類があり、またとても日常的なモチーフといえます。その形態、あるいは機能、歴史、また全ての人が個別に持っている本にまつわる過去の経験や思い出など、別紙参照文や問題文にも記されたようにその解釈は多様です。対象物に対する日常の観察力とともに、記憶や感情を形にするイメージ力などを見ることを意図しています。結果的には与えられたモチーフを丁寧に観察しイメージを膨らませたものから、過去に読んだ本の記憶や、読書体験の感動を形にしたものまで、回答例は大変多様なものでした。

採点は上記の出題意図に基づき、画面右上に記された作者によるタイトルを丁寧に読みながら、作者がどのような本のイメージを構成したか、それが見るものに伝わったか、をまず見ていきました。

さらに採点においてはその多様性を尊重しつつ、着眼点、観察のユニークさ、空間（画面）構成のダイナミズム、リアリティ（表現力）、色彩（美しさや適切な使用）などを基準に総合的な視点から行いました。





教員コメント

客観的な印象を受ける作品です。観察者として視点を固定し無理のない姿勢でじっくり見えるものに向き合ったからでしょう。



教員コメント

この作者は両手を描くという冒険に挑戦しています。包帯を両手で引っ張ると伸びるところを見せたいという意図が伝わります。



教員コメント

難しいポーズをなんとか描こうとしている努力がよく見える。全体を左に寄せすぎたため右の空間が無意味となってしまう、画面左が窮屈になった。それぞれの質感がもう少し出ると良かっただろう。



教員コメント

手の形はおかしいのですが、作者が伸縮性の包帯の繊維の構造がどのように作られているのかに注目したことがよくわかります。



教員コメント

画面いっぱいに大きく描き、アクリル球が中心となって画面を引き締めている。
ネット包帯の中の手の存在感がやや弱い、右上隅が指と接することが窮屈な感じとなったのが残念だが、出題の意図を素直に理解し描写したよい作例である。



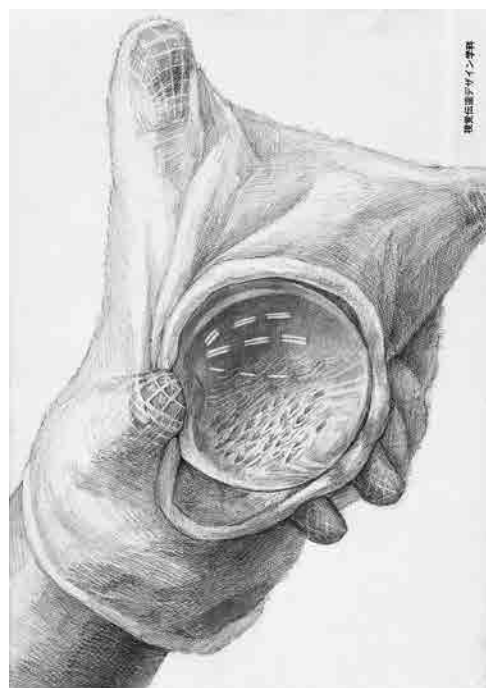
教員コメント

まるで球を布で磨いている途中のような動きを感じる作品です。アクリル球に反射する蛍光灯の光が動きをうまく演出しています。



教員コメント

手全体をしっかりと描写し、アクリル球やネット包帯の扱い方も自然で良い。細部まで丁寧に描いていることが、作者のデッサンに対する愛情のようなものを感じる。手の中の空間がもう少し表現されていればさらに良くなっただろう。



教員コメント

縦に大きく捉えた構図が良い。アクリル球の質感や写り込みが丁寧に描かれていて、作者が、楽しんでデッサンしている好感の持てる作例である。ネット包帯の描写がやや省略し過ぎである、編み目の細部や、手に対する追従性がもう少し描写されていればさらに良くなっただろう。



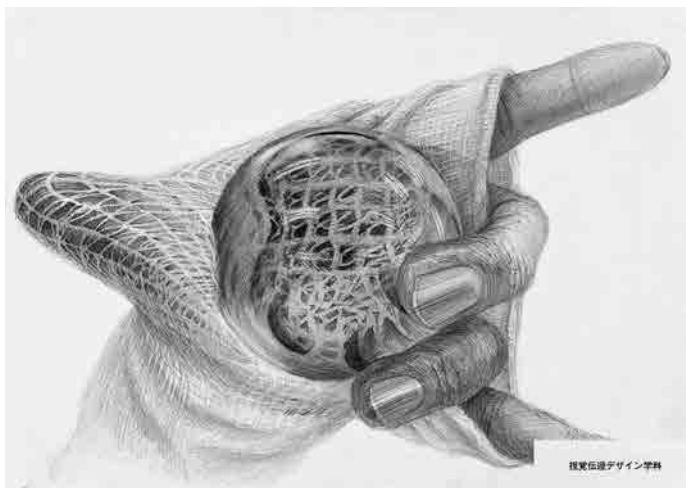
教員コメント

描くべき部分に狙いを定め、堂々と描こうという意思を強く感じるデッサンである。全体にもう少し右に寄せて、手首をしっかりと入れる方が良い。アクリル球がやや歪んで見えること、手の甲の描写が足りないことなどが改善されればさらに良くなっただろう。



教員コメント

手とアクリルと包帯の質感の違いがしっかり表現できています。手と球体としての立体感が的確で、生まれる空間が心地よいですね。



教員コメント

構図がやや演出しすぎるが、狙いや意図は良いと思う。指の描写で、前後に遠近感を出すこと、手首を省略することで空間を出すことなど、これ以上オーバーになると危うい。アクリル球もやや大きすぎる感があるが、評価はできる。



教員コメント

アクリル球の生み出すレンズ効果をいろいろと楽しんだのでしょうか。ここだと構図を決めて書き込んだ、自信にあふれた作品です。



涙を誘う美しい物語がつづられている

教員コメント

目に涙をためて読んだ物語。その物語が書かれた本のページを涙で濡らしてしまったかの様に歪ませた表現が感動的である。



知りたい気持ちが、あふれ出す。

教員コメント

分厚く閉じられた本のページに情熱的な色彩の付箋がいくつも挟まれ、知識への渴望が感じられる。細やかな画面処理も心地よい。



匂いや音もあふれ出し私をその世界へと誘う

教員コメント

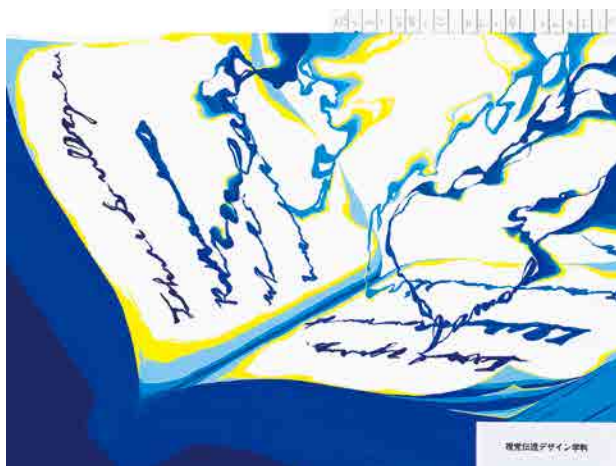
匂いや音といった表現が難しいテーマに向きあった作品。その表現を透明感のある色彩や同心円をうまく用いて表現している。



想像の世界へと誘う道標

教員コメント

開いた本のページを蝶の羽のはばたきとしてイメージし、さらに「想像の世界へと誘う道標」という言葉で象徴した美しい作品。



綴じられた言葉の思いが私に届いてくるようだ

教員コメント

書物には言葉があるのだということを明確に自覚した構成。そしてその言葉が自らの中に届く様が視覚言語（メッセージ）として届く。



小説の中の言葉が心に積もっていく。

教員コメント

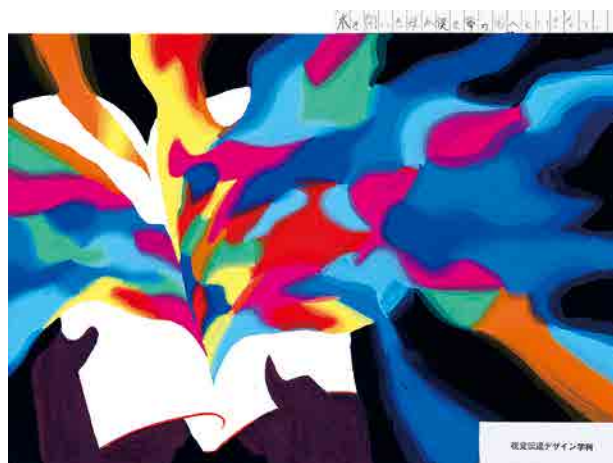
ひらひらと舞いおりてくる短冊状の紙片の重なりが「小説の中の言葉が心に積もっていく」という本のイメージを表現している。



放課後の居残り教室

教員コメント

机と本を同じ色で境目をわかりにくくすることで、夕日に埋もれる情景と、その中の「居残り」という心理状態が表現されている。



本を開いた母が僕を夢の国へといざなう。

教員コメント

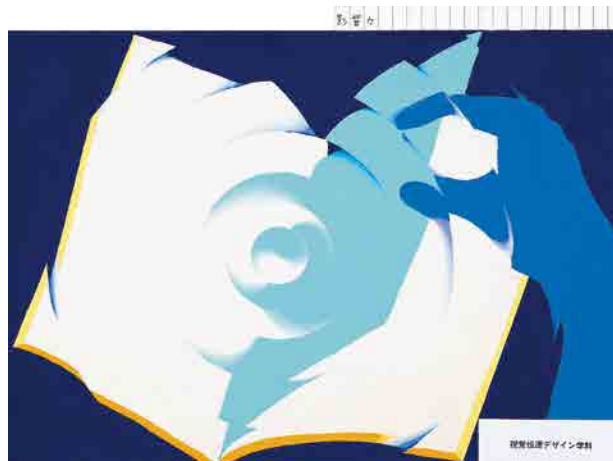
書物には様々な図像とテキストが綴じられている。書物と母親は、自分を夢の国へと導いてくれるもの、と捉えた希望に満ちた作品。



物語との出会いは春を感じさせてくれる。

教員コメント

作者はページをめくり、その物語を読み進んでいくと春を感じたという。全体の色彩と構成で春がうまく表現されている。



影響力

教員コメント

フォルムの輪郭線をずらすことで中央から広がる同心円を感知させるアイデアが面白い。書籍のパワーが溢れ出る様子が感じられる。



物語があふれ出し、私をいざなう

教員コメント

本が閉じられているにもかかわらず、光に見立てた物語が溢れ出ていることで、読書の記憶と内容への強い想いが表現されている。



本の中から伝わってくる恐怖の世界

教員コメント

漫画なのか写真集なのか紙面には粹取りがされている。そのページから作者が恐怖心を抱いた状況がグレー系の色の選択やカタチで伝わってくる。